
Ｊ・カーサー

サダコレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

J・カーサー

【Nコード】

N3214E

【作者名】

サダコレ

【あらすじ】

カーサーは母親を…。だがそこには衝撃のラストが！ぷく

（前書き）

久しぶりに書きます。　　というか久しぶりに書きます。

私はもうすぐ14歳になるジェイル・カーサー。胸毛がボーボーです。

いきなりなんですが、3年前に消えた母を探しています。警察やテレビ局にも協力してもらいましたが全然見つかりません。私は口臭がはかりしれません。

母が消えた原因をこの3年間、私は必死で考えたりもしました！でも何が原因なのか…

私はもう一週間お風呂に入っていません。

お願いします！どんな情報でもいいんです！母について…母についてなにか情報を…。

ぶりっ、ぶりぶりぶりっ

アナウンサー

「えっ、というわけで、ジェイルさんのお母さんの情報をお待ちしております。」

ジェイル

「お願いします！お願いします！」

アナウンサー

（くさっ！こいつ、くさっ！）

ジェイル

（やだっ、なにこのアナウンサー！わたしのこと、すごくいやらしい目で見てる！）

ちなみにジェイルは男です。

アナウンサー

「えっここで新しい情報が入りました!」

ジェイル

「ほんとですかっ!?!」

アナウンサー（うるさいし、臭いなこいつは）

アナウンサー

「えっ、母親を発見!ジェイルくんの母親を発見したもよう!」

ジェイル

「チツ!」

スタッフ（えっ!?!）

ジェイル

「もつと念入りに頭蓋骨をハンマーで……」

スタッフ一同

「えっ!?!」

ここでアナウンサーが席を立ち……

アナウンサー

「ジェイル、僕が君のパパだよ。」

ジェイル

「もおとーさん!!」

この小説を読んだその君、
アラスカを目指せっ！

（後書き）

いやゝ久しぶりに書きました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3214e/>

J・カーサー

2010年12月30日05時32分発行